

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年11月13日
【四半期会計期間】	第84期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 溝口 康博
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354 - 5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354 - 5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都調布市小島町一丁目32番2号 京王調布小島町ビル） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第83期 第2四半期 連結累計期間	第84期 第2四半期 連結累計期間	第83期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	39,933,289	38,114,419	76,624,290
経常利益又は経常損失() (千円)	872,173	428,482	146,972
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失()(千円)	569,436	420,945	68,793
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	449,536	808,445	1,108,044
純資産額(千円)	23,257,578	20,824,249	21,774,066
総資産額(千円)	49,969,488	48,503,300	49,419,626
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額()(円)	27.78	22.35	3.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	46.5	42.9	44.1
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,046,742	183,132	643,331
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,288,599	780,953	3,289,224
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	520,573	443,272	2,659,359
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	1,152,491	730,299	886,800

回次	第83期 第2四半期 連結会計期間	第84期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	6.96	20.43

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高は消費税等は含みません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第83期第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載していません。第83期連結会計年度および第84期第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社に異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

平成24年3月期の有価証券報告書（平成24年6月28日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況及びキャッシュ・フローの状況

業績の状況

緩やかな回復傾向が見られた個人消費は、電力料金の値上げや消費増税の動きなどを背景に一部で減速感が始始め、食品に対する消費者の購買意欲も引き続き低迷しており、販売環境は一層厳しいものとなりました。

このようななか、当社グループでは「人と自然を、おいしくつなぐ」をテーマに、メニュー提案などの価値訴求型の販売促進活動をさらに推進しました。

しかしながら、市場での製品価格の低下圧力が一段と強まるなか、ツナ製品等の主原料価格が引き続き高値で推移したため、販売奨励金の削減に努めたことから、販売機会が減少し、売上高は381億14百万円（前年同期比4.6%減）となり、売上総利益も減少しました。販売費及び一般管理費の削減にも継続的に努めたものの、営業利益は8億4百万円（前年同期は4億76百万円）、経常利益は4億28百万円（同8億72百万円）、四半期純利益は4億20百万円（同5億69百万円）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

（単位：千円、％）

製品群		前第2四半期		当第2四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	18,489,428	46.3	16,789,357	44.0	1,700,071	9.2
		デザート	1,834,574	4.6	2,243,394	5.9	408,819	22.3
		パスタ&ソース	4,248,974	10.6	3,845,640	10.1	403,333	9.5
		総菜	2,986,900	7.5	2,899,159	7.6	87,741	2.9
		削りぶし・海苔・ふりかけ類	3,189,523	8.0	2,782,401	7.3	407,122	12.8
		ギフトセット・その他食品	2,110,091	5.3	2,262,996	5.9	152,904	7.2
		計	32,859,493	82.3	30,822,948	80.8	2,036,544	6.2
	業務用食品	5,716,585	14.3	6,016,810	15.8	300,224	5.3	
	ペットフード・パイオ他	1,031,439	2.6	980,605	2.6	50,834	4.9	
	計	39,607,518	99.2	37,820,364	99.2	1,787,154	4.5	
その他		325,770	0.8	294,054	0.8	31,716	9.7	
合計		39,933,289	100.0	38,114,419	100.0	1,818,870	4.6	

(注) 1 上記金額は消費税等を含みません。

2 製品群区分の表示について、前期までの「花かつお・海苔・ふりかけ類」を今期より「削りぶし・海苔・ふりかけ類」に変更しました。

「ツナ」では、「ちびまる子ちゃん」をキャンペーンキャラクターに起用し、野菜とシーチキンの相性の良さを訴求した「野菜をおいしくシーチキン」キャンペーンを展開し、小売店等における需要の喚起を強化しました。しかしながら、主原料のきはだ鮪・かつおの価格が継続的に高値で推移したことにより販売奨励金を削減したこと、および円高を背景とした他社輸入品の安値販売攻勢もあり、当社製品の販売機会が減少したことから、当製品群の売上高は前年同期比9.2%減少しました。

「デザート」では、東日本大震災の影響から資材の供給不足により前期一時販売を休止した「朝からフルーツ」シリーズの復調により、当製品群の売上高は同22.3%増加しました。

「パスタ&ソース」では、長引く円高による安価な他社輸入品の増加等の影響により、販売機会が減少し、スパゲッティ・マカロニ類とともに低調な販売となりました。結束タイプスパゲッティの増量品の販売で底上げを図りましたが補いきれず、当製品群の売上高は同9.5%減少しました。

「総菜」では、青魚缶詰の「健康」シリーズと新たに発売した鶏肉缶詰の「やんわか」シリーズの販売は堅調に推移したものの、主力の「シャキッとコーン」の販売が、他社輸入品の安値攻勢を受け低調に推移し、当製品群の売上高は同2.9%減少しました。

「削りぶし・海苔・ふりかけ類」では、「かつのりサラダ」のメニュー提案により「サラのり」・「サラかつお」等の販売は堅調に推移しましたが、競合他社との価格競争が激化したふりかけ類などが低調で、当製品群の売上高は同12.8%減少しました。

「ギフトセット・その他食品」では、ギフトパーツ（ギフトセットの構成品）の販売が好調に推移し、当製品群の売上高は同7.2%増加しました。

「業務用食品」では、CVSや外食チェーン向けのツナやコーン製品の販売が好調に推移しました。当製品群の売上高は、同5.3%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、ペットフード・フィッシュミール等の販売が全般に低調であったため、当製品群の売上高は同4.9%減少しました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間に対し4億22百万円減少して7億30百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の収入10億46百万円に対し8億63百万円減少して1億83百万円の収入となりました。この減少の主な要因は、売上債権が減少したことや法人税等の還付が発生したものの、仕入債務の減少や税金等調整前四半期純損失を計上したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の支出12億88百万円に対し5億7百万円減少して7億80百万円の支出となりました。この減少の主な要因は、投資有価証券の取得による支出が増加したものの、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間の収入5億20百万円に対し77百万円減少して4億43百万円の収入となりました。この減少の主な要因は、短期借入金が増加したものの、長期借入れによる収入が減少したことによるものです。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、112,348千円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	20,650,731	-	1,441,669	-	942,292

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
公益財団法人はごろも教育研究奨励会	静岡県静岡市清水区辻1-1-1	8,783	42.53
後藤康雄	静岡県静岡市清水区	1,300	6.29
はごろも高翔会	静岡県静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	1,240	6.00
株式会社静岡銀行	静岡県静岡市葵区呉服町1-10	583	2.82
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町1-13-2	583	2.82
はごろもフーズ従業員持株会	静岡県静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	366	1.77
後藤清雄	静岡県静岡市駿河区	355	1.72
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	300	1.45
木内建設株式会社	静岡県静岡市駿河区国吉田1-7-37	270	1.30
三井物産株式会社	東京都千代田区大手町1-2-1	205	0.99
計	-	13,987	67.73

(注) 上記のほか、自己株式が1,816千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株) 普通株式 1,816,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 18,726,000	18,726	-
単元未満株式 (注)	普通株式 108,731	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	-	-
総株主の議決権	-	18,726	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式885株が含まれています。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡県静岡市 清水区島崎町151	1,816,000	-	1,816,000	8.79
計	-	1,816,000	-	1,816,000	8.79

(注) 第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は1,816,885株です。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	886,800	730,299
受取手形及び売掛金	14,402,058	14,030,176
商品及び製品	5,805,832	6,117,895
仕掛品	128,411	146,846
原材料及び貯蔵品	3,019,874	3,666,111
その他	2,653,216	1,985,343
貸倒引当金	1,731	2,739
流動資産合計	26,894,463	26,673,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,081,313	4,946,034
土地	4,826,942	4,624,641
その他(純額)	3,694,415	3,517,987
有形固定資産合計	13,602,671	13,088,663
無形固定資産		
投資その他の資産	292,524	280,463
投資有価証券	8,318,975	8,152,843
その他	334,702	329,535
貸倒引当金	23,709	22,139
投資その他の資産合計	8,629,967	8,460,239
固定資産合計	22,525,163	21,829,367
資産合計	49,419,626	48,503,300
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,836,709	12,986,310
短期借入金	4,500,000	5,300,000
1年内返済予定の長期借入金	400,000	1,400,000
未払金	3,814,673	2,726,310
未払法人税等	9,379	8,887
売上割戻引当金	26,041	69,920
販売促進引当金	-	1,164,428
賞与引当金	397,372	378,209
役員賞与引当金	37,500	-
その他	349,331	648,194
流動負債合計	23,371,007	24,682,262
固定負債		
長期借入金	1,200,000	-
退職給付引当金	660,034	680,061
役員退職慰労引当金	592,569	599,125
資産除去債務	16,140	16,302
その他	1,805,809	1,701,299
固定負債合計	4,274,553	2,996,788
負債合計	27,645,560	27,679,051

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,512	942,512
利益剰余金	18,268,094	17,705,893
自己株式	2,147,889	2,148,006
株主資本合計	18,504,386	17,942,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,729,126	3,406,326
繰延ヘッジ損益	31,293	32,152
為替換算調整勘定	490,739	491,994
その他の包括利益累計額合計	3,269,680	2,882,180
純資産合計	21,774,066	20,824,249
負債純資産合計	49,419,626	48,503,300

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 2 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
売上高	39,933,289	38,114,419
売上原価	25,547,903	25,845,393
売上総利益	14,385,386	12,269,026
販売費及び一般管理費	¹ 13,908,994	¹ 13,073,892
営業利益又は営業損失 ()	476,391	804,866
営業外収益		
受取利息	289	183
受取配当金	110,906	140,793
持分法による投資利益	38,518	25,815
受取手数料	199,314	179,317
その他	82,656	109,334
営業外収益合計	431,684	455,445
営業外費用		
支払利息	2,398	23,261
売上債権売却損	5,462	8,412
賃貸収入原価	5,626	34,386
たな卸資産処分損	6,858	2,153
その他	15,557	10,847
営業外費用合計	35,903	79,060
経常利益又は経常損失 ()	872,173	428,482
特別利益		
固定資産売却益	126,234	449
補助金収入	-	174,035
特別利益合計	126,234	174,484
特別損失		
貸倒引当金繰入額	787	304
固定資産除却損	2,578	18,917
減損損失	-	² 202,301
投資有価証券評価損	697	202
事業整理損	14,571	-
特別損失合計	18,635	221,725
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ()	979,772	475,722
法人税等	410,335	54,776
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ()	569,436	420,945
四半期純利益又は四半期純損失 ()	569,436	420,945

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	569,436	420,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,691	322,799
繰延ヘッジ損益	87,356	63,445
持分法適用会社に対する持分相当額	22,852	1,254
その他の包括利益合計	119,900	387,499
四半期包括利益	449,536	808,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	449,536	808,445
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	979,772	475,722
減価償却費	407,406	736,127
減損損失	-	202,301
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,420	562
その他の引当金の増減額(は減少)	1,332,288	1,178,229
受取利息及び受取配当金	111,196	140,977
支払利息	2,398	23,261
為替差損益(は益)	868	2,031
持分法による投資損益(は益)	38,518	25,815
売上債権の増減額(は増加)	606,686	371,881
たな卸資産の増減額(は増加)	1,180,788	1,108,454
仕入債務の増減額(は減少)	1,657,511	850,398
補助金収入	-	174,035
未払金の増減額(は減少)	1,213,483	976,906
その他	89,661	706,568
小計	1,138,491	532,472
利息及び配当金の受取額	110,761	140,629
利息の支払額	5,248	22,773
法人税等の支払額	197,262	9,379
法人税等の還付額	-	433,093
補助金の受取額	-	174,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,046,742	183,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,417,405	470,304
投資有価証券の取得による支出	11,384	295,475
貸付けによる支出	2,500	-
貸付金の回収による収入	2,983	2,749
その他	139,707	17,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,288,599	780,953
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	800,000
長期借入れによる収入	1,000,000	-
長期借入金の返済による支出	200,000	200,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	20,621	15,356
自己株式の取得による支出	2,607	116
配当金の支払額	256,198	141,254
財務活動によるキャッシュ・フロー	520,573	443,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	715	1,952
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	278,001	156,501
現金及び現金同等物の期首残高	874,490	886,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,152,491	730,299

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法にもとづく減価償却方法に変更しています。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微です。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、税引前四半期純損失となり、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しています。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
販売奨励金	7,605,938千円	7,187,933千円
販売促進引当金繰入額	1,306,609	1,164,428
広告宣伝費	711,376	554,003
荷造運賃	1,059,380	1,037,798
給料及び手当	861,526	837,967

2 減損損失

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループは、事業用資産については主として管理会計上の事業区分にもとづく製品群をキャッシュ・フローを生み出す最小の単位として、また、重要な賃貸資産および遊休資産については個別の物件ごとにグルーピングを行い、以下の資産グループについて減損損失を計上しています。

場所	用途	種類	減損損失
静岡県焼津市	事業用地	土地	202,301千円

上記事業用地は、地価が著しく下落しているため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しています。なお、回収可能価額は正味売却価額を使用し、不動産鑑定価額により評価しています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,152,491千円	730,299千円
現金及び現金同等物	1,152,491	730,299

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成23年6月29日の第82期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	256,198千円
(ロ) 1株当たり配当額	12円50銭
(うち創業80周年記念配当5円を含む)	
(ハ) 基準日	平成23年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成23年6月30日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

平成23年11月11日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	153,702千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成23年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成23年12月5日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成24年6月28日の第83期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,254千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成24年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成24年6月29日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

平成24年11月12日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,253千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成24年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成24年12月5日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)および当第2四半期連結累計期間
(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

(金融商品関係)

前連結会計年度(平成24年3月31日)

(単位:千円)

	連結貸借対照表 計上額	時価	差額
(1)1年内返済予定の長期借入金	400,000	400,000	-
(2)デリバティブ取引()	49,838	49,838	-

()デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しています。

(注)金融商品の時価の算定方法

(1)1年内返済予定の長期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(2)デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等にもとづき算定しています。

当第2四半期連結会計期間(平成24年9月30日)

1年内返済予定の長期借入金、デリバティブ取引が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められます。

(単位:千円)

	四半期連結貸借対照表 計上額	時価	差額
(1)1年内返済予定の長期借入金	1,400,000	1,400,000	-
(2)デリバティブ取引()	(51,206)	(51,206)	-

()デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については()で示しています。

(注)金融商品の時価の算定方法

(1)1年内返済予定の長期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(2)デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等にもとづき算定しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり 四半期純損失金額()	27円78銭	22円35銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ()(千円)	569,436	420,945
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期 純損失金額()(千円)	569,436	420,945
普通株式の期中平均株式数(株)	20,494,872	18,833,920

(注)当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。なお、前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月12日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

- (イ)中間配当による配当金の総額 141,253千円
(ロ)1株当たりの金額 7円50銭

(八) 支払請求の効力発生日および支払開始日 平成24年12月5日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月8日

はごろもフーズ株式会社
取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員
業務執行社員 公認会計士 山本 英俊

代表社員
業務執行社員 公認会計士 貴志 豊

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。